

岩手河川国道事務所からの情報提供

- 流域タイムラインの見直し
- 洪水予報文等の様式変更について
- 川の防災情報について
- まるごとまちごとハザードマップ、水害リスクマップ、重ねるハザードマップ

令和7年6月27日

東北地方整備局 岩手河川国道事務所

流域タイムラインの見直し

主な見直し内容:

- ①大雨警報等のタイミングを修正
- ②キキクル情報の追記
- ③水位レベルの着色を避難情報ガイドラインと合わせる。
- ④その他、文字サイズや誤字等の修正

- R7年度版の流域タイムライン(案)は「参考資料-2」のとおり。
- R7年の出水期は、本タイムラインで対応。

見直し前(R6年度)

見直し前(R6年度)のスクリーンショット。左側の「大雨注意水位」欄には、レベル2の表示が黄色と青の組み合わせで、右側の「大雨注意水位」欄には、レベル2の表示が黄色と赤の組み合わせで、ガイドラインと異なる。また、表内の文字サイズが小さく、読みづらい箇所がある。

見直し後(R7年度)

見直し後(R7年度)のスクリーンショット。大雨注意水位のレベル2は、ガイドラインと一致する黄色と赤の配色に変更された。また、大雨注意報と洪水注意報のタイミングが修正され、大雨注意報(浸水害)と洪水キキクル(黄)が追加された。表内の文字サイズも大きく、読みやすくなった。

○洪水により重大な災害が生ずるおそれのある河川に対し、水防法第10条に基づき、河川管理者(国土交通省又は都道府県)と気象庁が共同し、「指定河川洪水予報」を行っており、R7.3.25~新システムによる運用を開始。

Press Release

いのちとくらしをまもる 防災減災

令和7年3月21日
水管理・国土保全局河川計画課
河川環境課
気象庁大気海洋部気象リスク対策課

洪水予報文(PDF形式)を見やすい図表を用いて分かりやすくします!
~新システムの運用を開始します~

川の防災情報や気象庁ホームページからどなたでも確認できるPDF形式の洪水予報文を、見やすい図表を用いて分かりやすくします。
国土交通省または都道府県と気象庁が共同で発表している「指定河川洪水予報」について、その発表文の作成を支援するシステムの改良を進めてきました。この新システムの運用を、3月25日13時*から開始することに伴う変更です。
*天候、地震、その他の事情により延期する場合があります。

【別紙】
・洪水予報文(PDF形式)の主な変更点

(参考) 関連資料及び用語解説は、下記のホームページをご覧ください。
○配信資料に関する技術情報第635号~洪水予報文(PDF形式)の様式変更について~
<https://www.data.jma.go.jp/suishin/jyohou/pdf/635.pdf>
○「川の防災情報」気象庁ホームページ(指定河川洪水予報)
…発表中の洪水予報文(PDF形式)をダウンロードすることができます
<https://www.river.go.jp/index>
<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>
○防災用語ウェブサイト: 洪水予報
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=kozuiyohou>
○防災用語ウェブサイト: 早見表(警戒レベル相当情報早見表)
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=havamihyo>

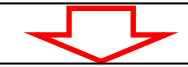
【問い合わせ先】
(全般)
水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 小谷、若林
代表: 03-5253-8111 (35-462、35-465)、直通: 03-5253-8448
(川の防災情報に関すること)
水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 成島、柴田
代表: 03-5253-8111 (35-392、35-396)、直通: 03-5253-8446
(気象庁ホームページに関すること)
気象庁大気海洋部気象リスク対策課 西、小木
代表: 03-6758-3900 (4206、4207)、直通: 03-3434-9051

○従前システムの課題

- ・洪水予報等の発表に時間を要する(入力・確認する情報量が多い等)
- ※複数の基準点で発表基準閾値になった場合や、水位上昇が急な場合に、洪水予報等を適時的確に発表できない。

○新システムのねらい

- ・発表入力作業の省力化による発表の遅れ、見逃しを回避(洪水予報等、発表文の見直し、システム操作性の改善)
- ・図表を用いた分かりやすい表現とし、情報の受取手(市町村、メディア等)の災害対応を一層支援



○改良のポイント

【入力作業の省力化】

- ①1つの端末で複数発表文を同時編集・発表が可能
- ②自動生成された文案をチャットツールで通知
- ③氾濫の恐れがある区域を自動抽出

【発表の遅れ、見逃しを回避】

- ④発表基準閾値を超え、一定時間経過すると、未発表をアラート機能により通知

【予報文をわかりやすく(次頁参照)】

- ⑤発表文に分かりやすい図表を用いた様式に変更

洪水予報文等の様式変更について(主な変更点)

○川の防災情報や気象庁ホームページからどなたでも確認できるPDF形式の洪水予報文が、分かりやすい図表を用いた様式に変更。

○主な変更点は2つ。

- ①警戒レベル相当情報早見表の追加
- ②水位を棒グラフから折れ線グラフに変更

現行PDF

新PDF 正規

〇〇川氾濫注意情報

〇〇川洪水予報第〇号
洪水注意報(発表)
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

(見出し)
【警戒レベル2相当情報【洪水】】〇〇川では、氾濫注意水位に到達し、今後、水位はさらに上昇の見込み

(主文)
【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇の見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の△△水位観測所(△△市△△)では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇の見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の□□水位観測所(□□市□□)では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇の見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

(雨量)
所により1時間に50ミリの雨が降っています。今後この雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇ミリ	〇〇ミリ

(水位)
〇〇川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	水位(m)	水位(m)				
〇〇水位観測所 (〇〇市〇〇市〇〇)	00日00時00分の状況	00日01時00分の予測	水防即特徴	氾濫注意	避難判断	氾濫危険
	00日02時00分の予測	00日03時00分の予測				
	00日04時00分の予測	00日05時00分の予測				
	00日06時00分の予測	00日07時00分の予測				
	00日08時00分の予測	00日09時00分の予測				
	00日10時00分の予測	00日11時00分の予測				
	00日12時00分の予測	00日13時00分の予測				
△△水位観測所 (〇〇市△△市△△)	00日00時00分の状況	00日01時00分の予測				
	00日02時00分の予測	00日03時00分の予測				
	00日04時00分の予測	00日05時00分の予測				
	00日06時00分の予測	00日07時00分の予測				
	00日08時00分の予測	00日09時00分の予測				
	00日10時00分の予測	00日11時00分の予測				
	00日12時00分の予測	00日13時00分の予測				

〇〇川氾濫危険情報
(警戒レベル4相当情報)

〇〇川洪水予報第〇号
洪水注意報(発表)
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

(見出し)
〇〇川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続き見込み

(主文)
【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市)で当分の間、「氾濫危険水位」付近の水位が続き見込みです。〇〇川では堤防決壊等による氾濫の恐れがあり、〇〇市、△△市では浸水する恐れがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに各自安全確保を図るなど、適切な避難行動をとってください。

【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の△△水位観測所(△△市)は、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が続き見込みです。引き続き、市町村からの避難情報に注意するとともに、適切な避難行動をとってください。

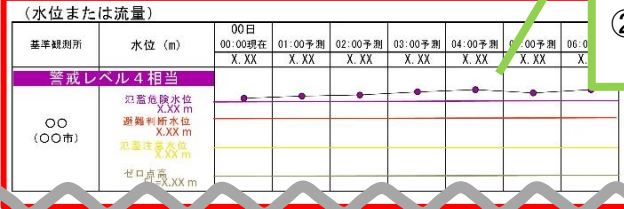
(警戒レベル相当情報早見表)

〇〇川氾濫危険情報(警戒レベル4相当情報)		
新着・更新	更新	
基準水位観測所名	〇〇	△△
対象河川	〇〇川	〇〇川
警戒レベル()相当	4	3
現況水位	4 (レベル4水位超過)	3 (レベル3水位超過)
予測水位		
更新	〇〇市 4	-
更新	△△市 4	3
更新	〇〇所 -	3

市区町村ごとの警戒レベル相当の数は、同一洪水予報区間内の基準水位観測所の受け持ち区間ごとの警戒レベル相当情報に基づいて、それぞれの氾濫による浸水が想定される地区が含まれる市区町村に対して一律に表示しているものです。
警戒レベル相当早見表の見方について【防災用語ウェブサイト・早見表】
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/term?key=hayanhyo>

(雨量)
多いところは1時間に〇〇ミリの雨が降っています。この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇ミリ	〇〇ミリ



(追加)
【警戒レベル相当情報早見表】
・主文にある各基準観測所の状況を視覚化

(改良)
【水位グラフ】
①各基準観測所の現況及び予測水位を示したグラフを視覚的に捉えやすく改良
⇒棒グラフから折れ線グラフに変更
②基準観測所ごとに警戒レベル相当を色とともに表示

現行PDF

正規

水防警報(出動)

発令河川	基準水位観測所	発表番号
〇〇川	△△△水位観測所	第〇号
平成〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分 国土交通省 〇〇川河川事務所発表		

【現況】
 〇〇川の△△△水位観測所(〇〇市〇〇)の水位は、
 〇〇日〇〇時〇〇分現在〇〇.〇〇mです。
 △△△水位観測所の水位は、(水防団待機水位、はん蓋注意水位、はん蓋危険水位)(に達し、を超え、を下回り)
 (上昇しています。横ばい状態です。下降しています。)
 または
 △△△水位観測所の水位は、(水防団待機水位、はん蓋注意水位、はん蓋危険水位)
 (を上回る見込みです。程度の見込みです。を下回る見込みです。)

【被災状況】

(自由に記入)

【発表】

水防機関は出動してください。

【特記】

(自由に記入)

〇〇川河川事務所の水防警報発令状況				
基準水位観測所/情報種別	待機	準備	出動	解除
〇〇〇〇				
△△△△				
□□□□				
××××				

問い合わせ先
 国土交通省 〇〇河川事務所 〇〇〇課 電話: 000-000-0000 (内線) 〇〇〇

(参考)

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。		
川の防災情報	パソコンから http://www.river.go.jp/	携帯電話から http://r.river.go.jp/

新PDF

正規

水防警報(準備)

令和〇〇年〇月〇日〇〇時〇〇分
 国土交通省 〇〇河川事務所 発表
 (第〇号)

(見出し)
 〇〇川の〇〇基準観測所 水防機関準備

(現況)
 〇〇川の〇〇基準観測所(〇〇町)の水位は、0日00時00分現在XX.XXm
 です。

(発表)
 水防機関は準備してください。

(水防警報発表状況)

〇〇河川事務所 水防警報発表状況			
新着・更新	新着・更新	更新	
基準水位観測所名		〇〇	△△
対象河川	〇〇川		〇〇川
水防警報発表状況		準備	
更新	〇〇市		準備
更新	△△市		準備

□水防警報に関する川の水位を確認したい方はこちら
 川の防災情報 水防警報画面 <https://XX>

□河川の氾濫危険度を知りたい方はこちら
 水害リスクライン <https://XX>

□氾濫の影響が想定される区域を知りたい方はこちら
 浸水ナビ <https://XX>



イメージ

川の防災情報
水防警報画面



イメージ

水害リスクライン



イメージ

浸水ナビ

問い合わせ先
 国土交通省 〇〇河川事務所 〇〇課 電話: XXX-XXX-XXXX

- ・見出しを追加
- ・水防警報発表状況表の様式を変更
- ・参考情報は簡素化し、PULL型情報にQRコードを追加

コンテンツの改善

- ① 河川カメラの過去画像表示機能
- ② 履歴動画表示機能

令和7年3月中旬～
川の防災情報のシステムアップ
デートに伴い表示形式が変更

UI・操作性の改善

- ① 危機管理型水位計の表示タイミング
- ② 主要河川名称の常時表示
- ③ 危機管理型水位計の表示名称の変更
- ④ 前回アクセス時の設定を次回アクセス時に保持する機能
- ⑤ 登録可能地点数の増加(3か所⇒5か所)
- ⑥ 情報の種類から選択するアイコンの見やすさの改善
- ⑦ 他の関連サイトを選択するアイコンの見やすさの改善
- ⑧ 水位観測所画面の見やすさの改善(拡大)
- ⑨ スマホ画面のアイコンの分かりやすさの改善
- ⑩ 地図アイコン表示タイミング設定
- ⑪ 観測所ごとのお知らせ表示改善
- ⑫ 観測所詳細画面から地図画面への画面遷移の追加

川の防災情報について(リニューアル)

コンテンツの改善

①河川カメラの過去画像表示機能及び②履歴動画表示機能

過去の日付(時刻)を設定しても、現在の時刻の画像が表示される仕様になっていた。



現況と平常時の静止画像を表示

カメラ以外は過去の情報が表示されるが、カメラは現在の画像が表示されるため、利用者に誤解を与える可能性がある。

過去の日付(時刻)を設定すると、その日付の画像を表示することができる。

※ただし、遡ることができるのは3日前まで。



再生ボタンの追加

現在までの履歴動画を表示する機能を追加(1時間程度)

←カメラ映像の過去画像表示機能や履歴動画表示機能が追加

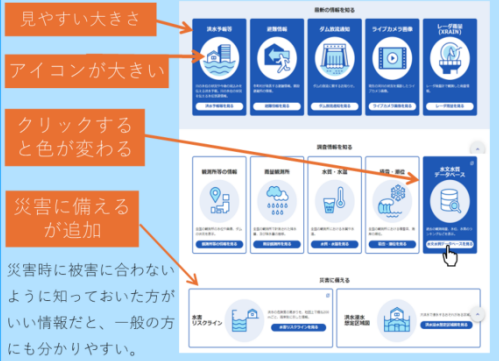
UI・操作性の改善

⑥情報の種類から選択するアイコンの見やすさの改善

これまでは、以下のとおりアイコンのデザインが直感的に分かりにくかった。



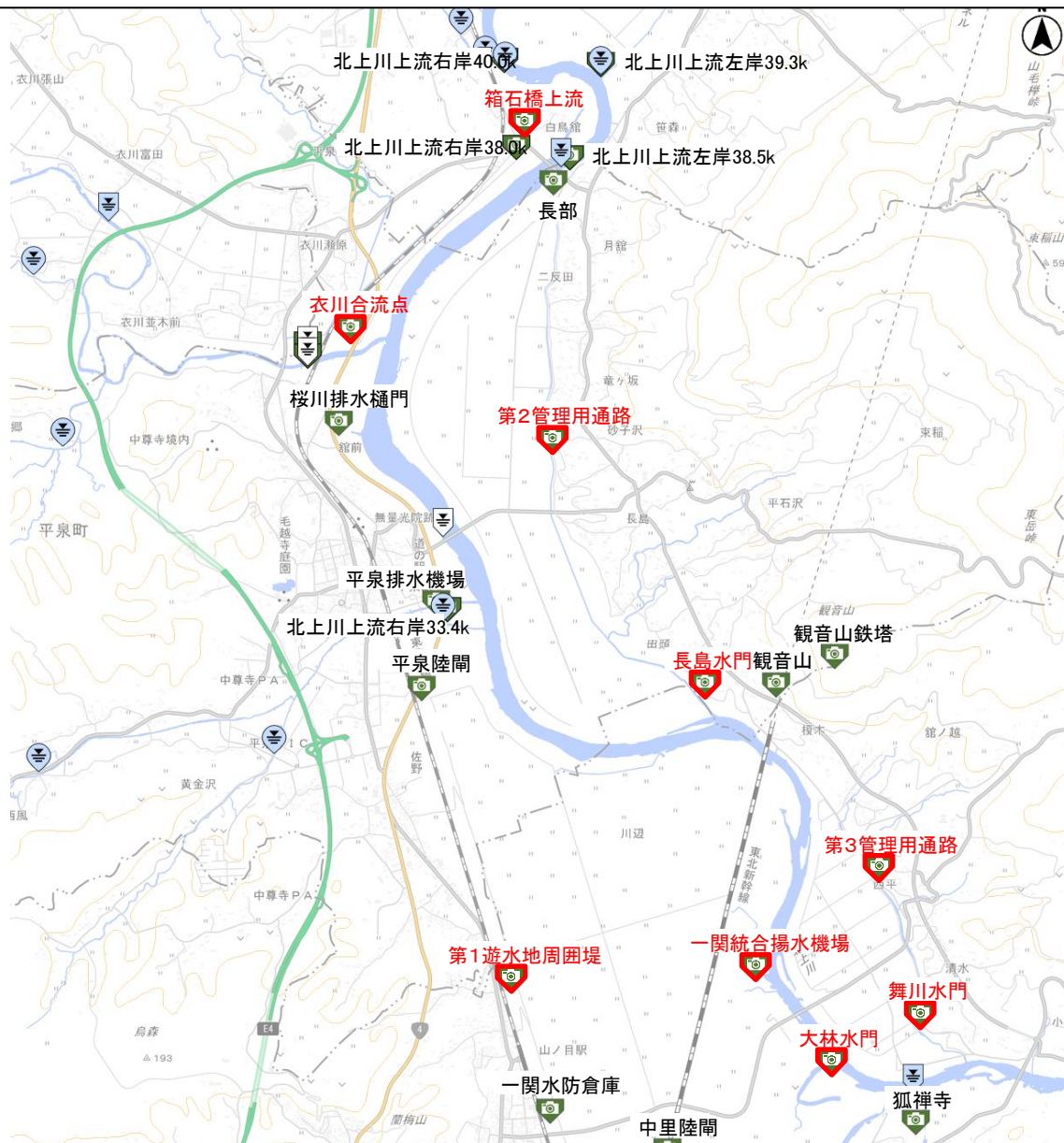
直感的に分かりやすいように、アイコンのデザインを一新し、選択しているコンテンツが分かりやすいように、クリックすると色が変わるように改善した。



情報の種類から選択するアイコンを、大きく、見やすく改善 →

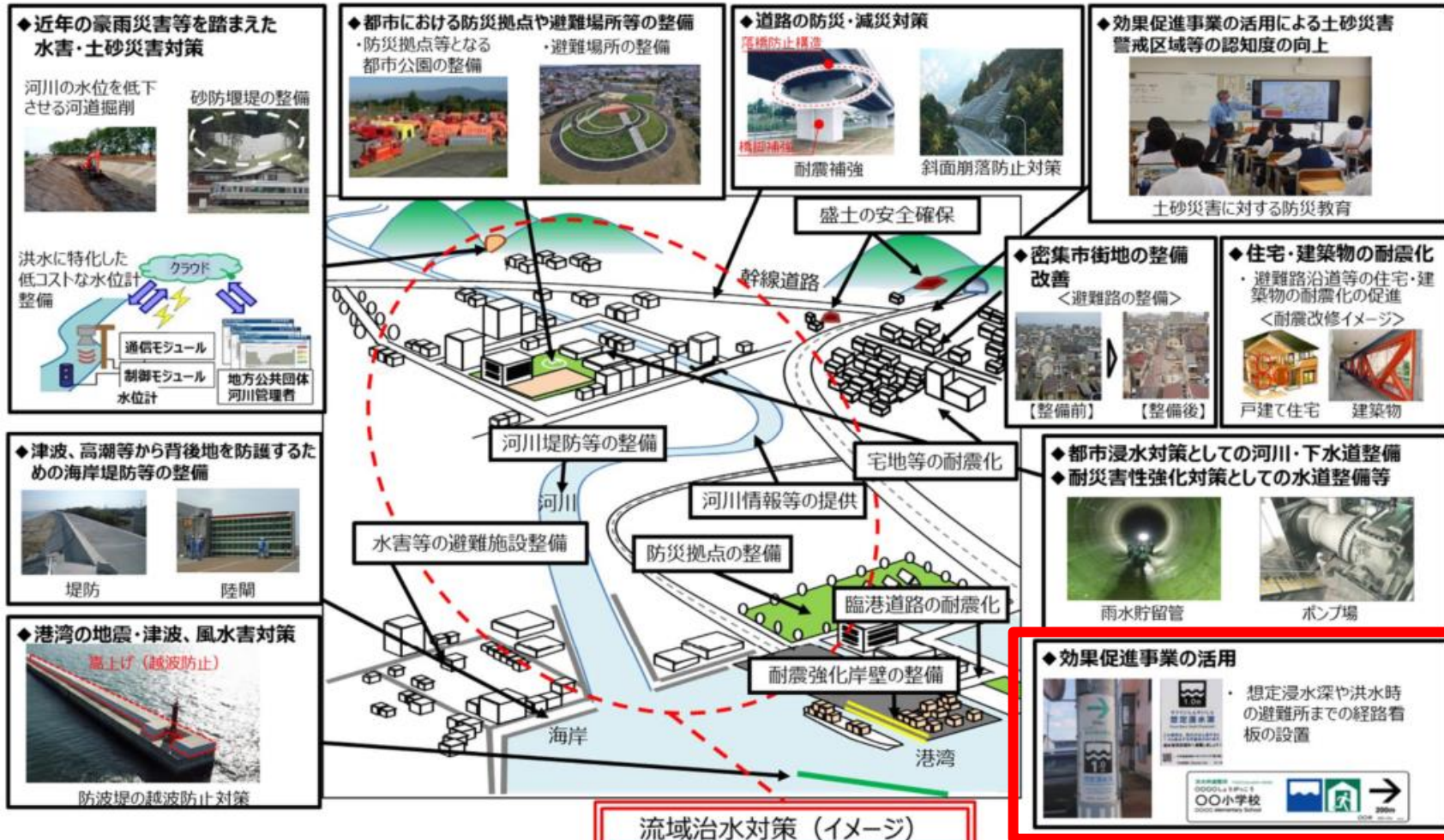
川の防災情報について(カメラの追加表示)

○令和6年度末、一関遊水地内周辺の河川監視カメラの映像を、「川の防災情報」へ追加で配信。



防災・安全交付金による集中的支援 【地域における事前防災・減災対策】

防災・安全交付金を活用し、地震・津波や頻発する風水害・土砂災害に対する事前防災・減災対策を支援。



まるごとまちごとハザードマップ(取組事例)

『まるごとまちごとハザードマップ～取組事例集～(R6.4)』

■「まちなか洪水ハザードシール」を活用して想定最大降雨に基づく浸水深を表示した事例(埼玉県熊谷市)



★耐水・耐光シールを使用



←QRコード(重ねるハザードマップ)

←包括連携協定による取り組み



無線機器ボックスに貼付した場合



無線柱に貼付した場合

(出典：熊谷市HP)

【実施内容】

- ・浸水深表示をシールにして防災行政無線ボックス、無線柱のうち、目につきやすい場所に張り付けたもの。
- ・表示様式は電柱巻き付けのものと同様であるが、シール素材とすること、企業との包括協定による取組とすることで低価格化を実現。

【期待される効果】

- ・市内に240か所ある防災行政無線のうち、目につきやすい場所にあるものを選択して貼付することで、効果的な周知を行うことができる。
- ・QRコードで重ねるハザードマップにアクセスを促し、水害リスクを知るきっかけとなることができる。

■地域での防災訓練で活用した事例(千葉県香取市)



【実施内容】

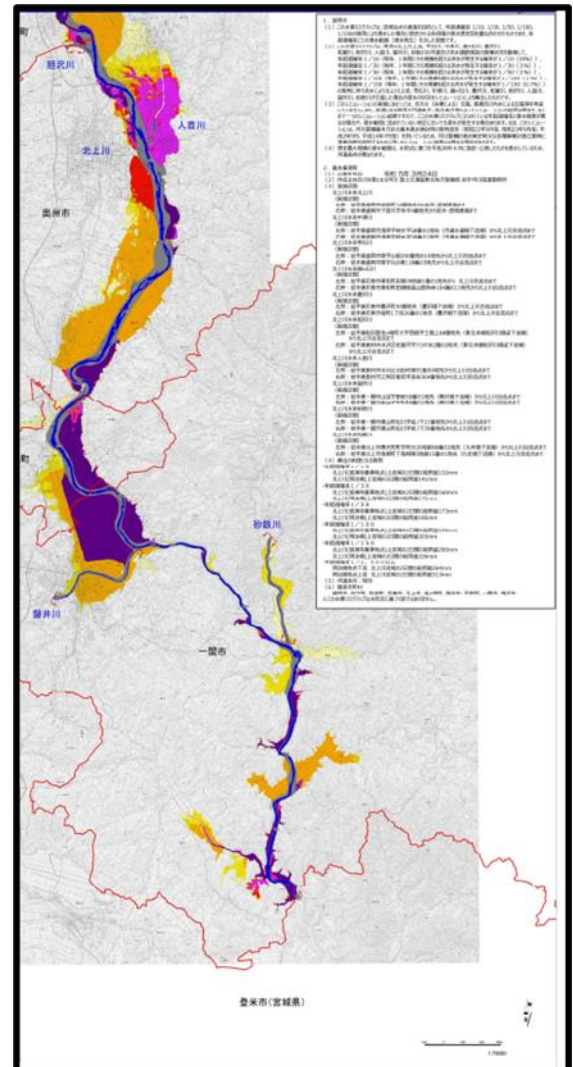
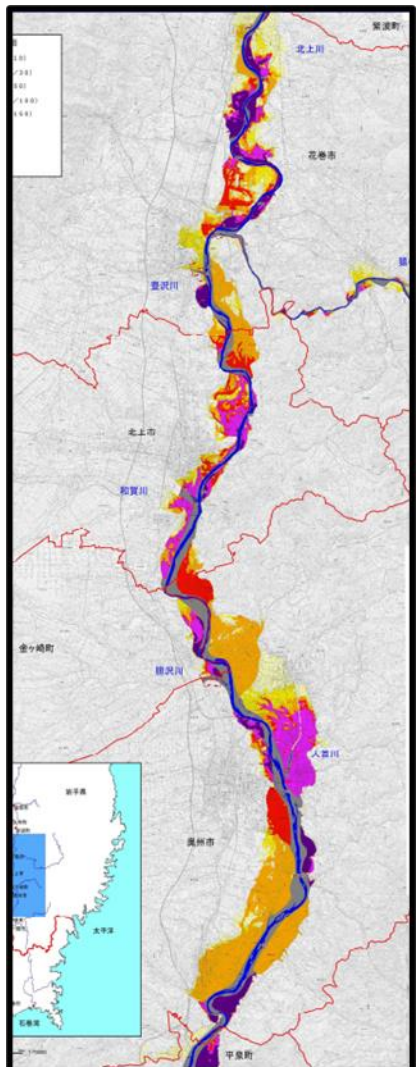
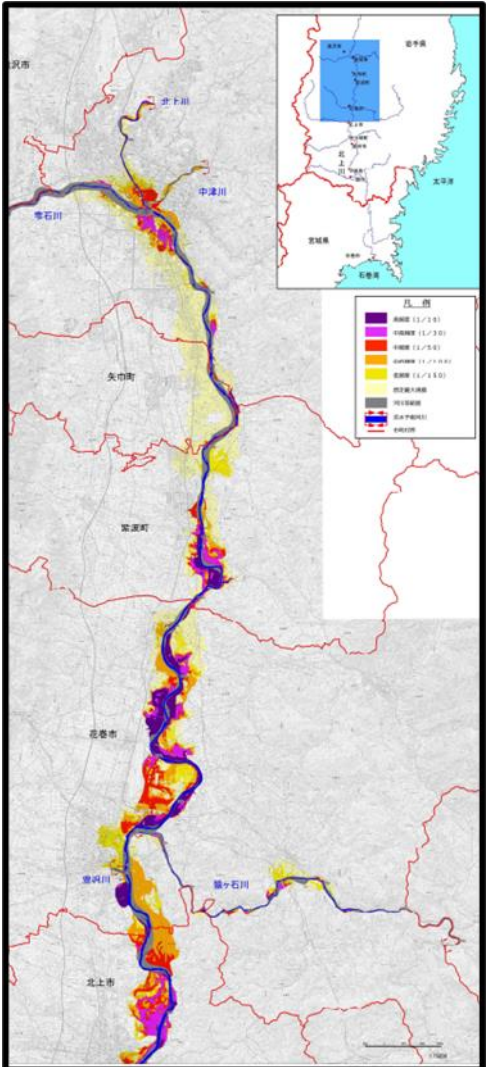
- ・「まるごとまちごとハザードマップ」の設置に合わせ地域住民による避難訓練を実施している。
- ・洪水への意識を高め、浸水深や避難所の方向などの知識の普及を図るため、避難路の途中にある「まるごとまちごとハザードマップ」の表示を確認しながら避難所まで移動。

【期待される効果】

- ・実際の避難経路を歩く経験とともに、標識設置箇所でのどの程度の浸水深が想定されているかを確認することができ、住民の洪水意識の向上が期待される。

水害リスクマップ (浸水頻度図) の活用

- 多段階の浸水想定図を重ね合わせた水害リスクマップを令和4年度に全水系で作成・公表済み。
- 色の濃さによって浸水しやすい場所を、直感的に認識することが可能。※濃い紫の箇所は、農地または河川事業箇所 (近年洪水で家屋浸水)
- 水害リスクマップを活用して、被害発生を警戒すべき箇所の知識普及活動を。



- 『ハザードマップ』で検索すれば大抵一番に「ハザードマップポータルサイト」がヒット。
- 「住所から探す」または「**現在地から探す**」※で、地図上にテキストボックスが表示される。 ※ 位置情報の利用が可能な端末の場合
- その場所の災害リスク(洪水/高潮/津波による浸水深、家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域など)に加え、災害時に取るべき行動も分かる。
- テキスト背景が**赤**の場合は**立退き避難が必要であり、早めの避難行動を。**

ハザードマップポータルサイト

身のまわりの災害リスクを調べる

使い方 よくある質問 利用規約/オープンデータ配信 ▼

※お知らせ

2025年3月17日 重ねるハザードマップの改良を行いました。詳細は、こちらをご覧ください。
2024年12月9日 利用規約を更新しました。ご利用の際は、新しい利用規約のご確認をお願いいたします。

身のまわりの災害リスクを調べる

重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

地域のハザードマップを閲覧する

わがまちハザードマップ

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。

住所から探す

住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す

現在地から探す

新機能（災害リスク情報のテキスト表示）について

地図から探す

地図を見る

災害の種類から選ぶ

洪水

土砂災害

高潮

津波

重ねるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

🔍 岩手県盛岡市南大通二丁目

選択中の情報

災害種別で選択

洪水・内水
(想定最大規模)

土砂災害
(指定警戒区域)

高潮
(指定警戒区域)

津波
(指定警戒区域)

道路防災情報
(指定警戒区域)

地形分類
(指定警戒区域)

掲載データに関する留意事項

すべての情報から選択

選択情報のリセット

指定避難場所

洪水 解除 削除

災害リスク情報・洪水浸水想定区域
洪水浸水想定区域 (想定最大規模) 解除 削除

災害リスク情報・洪水浸水想定区域
洪水浸水想定区域 (計画規模 (旧凡例)) 解除 削除

災害リスク情報・洪水浸水想定区域
洪水浸水想定区域 (計画規模 (現在の凡例)) 解除 削除

災害リスク情報・洪水浸水想定区域
浸水継続時間 (想定最大規模) 解除 削除

災害リスク情報・洪水浸水想定区域
家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵) 解除 削除

岩手県盛岡市南大通二丁目

この付近では、最悪の場合、洪水による浸水が発生してその深さが3メートルから5メートルになることが想定されています。これは1階が水没して2階部分まで浸水するような深さです。

また、この付近は河川からあふれた水の流れにより、木造住宅などが倒壊する危険性のある場所です。水害発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ早期に立退き避難することが必要です。避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

盛岡市のハザードマップを見る

⚠️ 誤差のため、正確な位置が表示されていない場合もあります。また、災害リスク情報は現時点のものであり、状況が変わる可能性があります。詳細はこちらの注意事項をご確認ください。

住所検索に戻る ホームへ戻る

20m~

10~20m

5.0~10m

3.0~5.0m

0.5~3.0m

0.0~0.5m

1